



関東一の柚子産地である越生町の柚子をおふろに浮かべます
一年で最も長い夜の時期、「柚子風呂」で元気に！



【開催店舗】昭和レトロな温泉銭湯 玉川温泉（埼玉県比企郡ときがわ町）

【開催日時】2015年12月19日（土曜）～12月27日（日曜）

【企画協力】越生町の女性農業者グループ「越生ばば乙女会」より越生産の柚子をご提供いただきます

■ 柚子風呂の由来と玉川温泉のおもい

毎年12月22日頃、1年で最も夜が長くなる日を冬至と呼びます。昔は冬至の日は「死に一番近い日」と言われており、その厄〔やく〕を払うために体を温め、無病息災を祈っていたそうです。この慣わしは現在も続いています。冬は植物が枯れ、動物は冬眠してしまうため、食料が手に入りにくくなります。更に日照時間が短いため生命の源である太陽の恵みを楽しむことが出来にくく、人々は生活の不安を感じていました。そこで無病息災を祈るために、野菜の少ない季節に栄養を補給するためにかぼちゃを食べたり、その香りに「邪を祓う霊力」があると信じられている柚子のお風呂に入るなどして夜を越していたそうです。冬至は「とうじ」と読みますが、これを「湯治〔とうじ〕」とかけて生まれたのが柚子湯（柚子を入れたお風呂）です。柚自体にも意味があり、「融通〔ゆうずう〕が利きますように」という願いが込められているそうです。このように昔から続く風習には思いや願いが込められています。玉川温泉の大きな湯船に浮かぶ柚子と共に元気に冬を乗り越えましょう。

参照：http://iroha-japan.net/iroha/A04_24sekki/07_toji.html

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

株式会社温泉道場 メディア事業部 野村謙次

住所：〒355-0342 埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川 3700

Tel:0493-65-4977 / Fax:0493-65-5121

e-mail：nomura@onsendojo.com 直通携帯電話番号：080-9681-0026